

理事長挨拶

あけましておめでとうございます。

昨年九月二十五日、聖和福祉会理事会におきまして、前理事長戸野和雄氏の後任に就任させていただきました。

『福祉』について素人である私は、大任に應えるべき『改正社会福祉法』『障害者総合支援法』『障害者虐待の防止・関する法律』等々の勉強に勤しんでいる毎日です。

さて、私の所信の一端を述べさせていただきます。当法人は、障害者支援施設『聖愛園』と生活介護事業所『サニープレイス』の二施設を運営しておりますが、この施設を更に効率的に連携させ、より質の高い福祉支援を目指しております。引き続き当法人の運営理念でもある『常に豊かな心をもって共生社会の実現に寄与する』ことに少しでも近づけるよう努力する所存です。又、公益事業として『ひきこ



発行所
聖和福祉会
聖愛園

〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
FAX 0598-49-3783

サニープレイス

〒515-0052
三重県松阪市
山室町2580
TEL 0598-30-5585
FAX 0598-30-5586

もり』相談支援を開設しておりますが、更に広報媒体を活用するなど、より広く募ると共に、親身になった相談支援にも力を注いでいきます。

元号の改まる本年は、福祉の原点に立ち返るとともに、更に充実したものとなるよう職員一同頑張ります。

利用者様、保護者等の皆様、役員・評議員の方々、関係機関のご指導・ご理解を頂き、健全な法人運営を目指します。

最後になりましたが、本年も皆様方のご健勝を祈念いたします。

聖和福祉会理事長

田山耕三



創作活動



←絵画部門で受賞された利用者さんは授賞式にも参加されました！

今年度も、松阪市展と三重県障害者芸術文化祭に、利用者さんの作品を出展し、日頃の活動発表を行いました。

その中でも松阪市展では、絵画部門で奨励賞を二名の方が、三重県障害者芸術文化祭では絵画部門で、中学時代のクラスメイトの似顔絵を描いた作品が、三重県議会議長賞を、デザイン部門では、実行委員会賞をそれぞれ受賞されました。

今年度は、従年通りの絵画やデザインに加え、陶芸作品も何点か出品しました。片麻痺があったり、リウマチで手が思うように動かなかつたりと、毎回職員と一緒に試行錯誤しながら、一生懸命に作り上げたものです。受賞には至りませんでしたが、これからも活動のひとつの楽しみとして、続けていきたいと思っています。

サービス管理責任者 羽根めぐみ

新任職員挨拶

高田短期大学卒業後、平成三十年四月より聖愛園で生活支援員として勤務させて頂いている久我といいます。宜しく願います。

私が生活支援の仕事をして頂くのは聖愛園が初めてです。学生の頃、座学や実習で高齢者、障がい者分野両方勉強してきました。

そうした経験で私に合っているのは障がい者分野だと思います。最初は、学生の時とは違い責任感もあり、やっていけるのか？と不安や戸惑うことがありました。ですが、先輩方の丁寧な指導やアドバイスのお蔭で、少しずつではありますが、分かることも増えて生活支援員として日々、勉強しながら支援に取り組んでいます。

現在、入社して十ヶ月程経ちますが、まだまだ生活支援員として至らない事が多くあります。感謝を忘れず、一人でも多くの利用者さんとその御家族に笑顔と安心を提供出来る様、日々の支援を大切に取り組みでいきたいと思っています。そして、今後研修等を通して自分自身を成長させると共に利用者さんに合った支援が出来る様に努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

生活支援員

久我一真

いよいよ

十月から事務員としてお世話になっております吉田祐子です。障害者雇用での採用ということで、周りの皆様には、気を遣って頂き、感謝しています。

周りの皆さんのように、出来ない事もありますが、自分なりに出来る事は、頑張つてやっていきたいと思っています。

福祉の仕事は、初めての経験で戸惑う事ばかりでしたが、丁寧に教えて頂き、日々学ばせて頂いています。利用者さんとは、出掛ける時の挨拶や手を振って頂いたり、少ない機会ではありますが、元氣な姿を拝見すると、嬉しく思います。

早く周りの皆様の役に立つ仕事ができるように努めさせて頂きますので、よろしくお願い致します。

事務員 吉田祐子



栄養便い

混ぜるだけ かんたんレシピ

ヨーグルト 適量
バナナ 1/2
きな粉 大さじ2
蜂蜜 お好みで



朝食にもぴったりの
免疫力アップメニュー
です♪

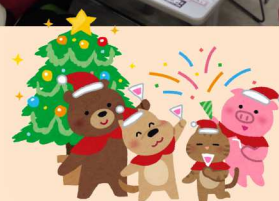
栄養士 野田未有

私達は見えない菌といつも戦っています。まずは、手洗いうがい、マスク等で菌を体内に入れないようにすること。身体を温めること。体温が一度上がるだけで免疫力は約六倍上がります。それでも防げなかった菌やウイルスは体内でやつつけるしかありません。免疫細胞を活発にする為には、沢山集まっている腸を元気にすることが必要です。

腸内環境を整える代表的な発酵食品はヨーグルトです。それだけを食べるのではなく、そこに免疫細胞を作る大豆（きな粉）と免疫の攻撃力を強めてくれるバナナと一緒に食べることが、強く丈夫な免疫細胞を作ることが出来ます。

食材一つ一つの効果のお陰で私たちの細胞が作られていることに感謝し、その組み合わせ方で効果が最大にも最小にもなる為、今後も一膳一膳大切に提供していきたいと思っています。

クリスマス会



平成では最後になるクリスマス会を、十二月九日の日曜日に開催しました。お忙しい中、保護者様、ボランティアの方にお越し頂き、ありがとうございました。

今年は利用者代表の催し物が無く、残念がる声が聞こえてきました。来年は是非とも参加してもらえたらと思います。ボランティアは二組お越し頂き、コールアベクブ様は、素敵な歌声を、KIYABAND様は、爽快なサウンドと歌を披露し、会場を盛りあげて頂きました。ありがとうございました。

そして、ケーキやプリンを食べた後、サンタクロースからプレゼントを受け取り、和やかな雰囲気の中、終了となりました。今後も職員一同、行事や支援等、利用者さんが快適に過ごせるように努めていきます。

生活支援員 辻 賀津雄

施設防災について

近年、危惧されている南海トラフ地震がひとたび発生すると、関東地方から九州地方まで震度七以上の地震が発生します。十メートルを超える大津波が襲来し甚大な被害を受けると想定されています。このことから、国や地方自治体は、ハザードマップの見直しや構造物で被害を防ぐより「人命を最優先に」と避難対策を見直す取り組みをしています。三重県の地震確率は八十%と言われており、早急な地震対策が企業や施設にも求められています。

聖愛園では、毎年消防署に依頼し避難訓練や消火訓練の実施、大規模災害を想定した炊き出し訓練を行っています。さらに、県で行われた地震講習会に参加し、施設で地震勉強会を行いました。

また、今年は、県に起震車を依頼し、職員の地震体験をしました。体験後、職員から「本当にこんな地震が起きたらどうしよう。」や「怖かった」と素直な意見を聞くことが出来ました。この体験を今後活かして、「明日、巨大地震が発生したら。」という思いを持って、防災対策に取り組んでいきたいと思っています。



生活支援員 藤原康雄



一泊旅行



↑バスでの移動中も楽しそうにされている様子が伺えました。

今年度も旅行活動として利用者さんと一緒に様々な所に出かけました。利用者さんの体調を考えると近場への訪問になりがちですが、普段の生活から離れた場所を訪れるのは良い気分転換になったと思います。

そんな中、今年の日帰り旅行は十月の九日、十日に実施いたしました。過ごしやすい時期を選び、近場でゆつくりと過ごすため、伊勢神宮（内宮）と志摩スペイン村を訪れました。夜は鳥羽の高台にあるホテルに宿泊いたしました。

伊勢神宮の森、高台から見る鳥羽湾、スペイン村の建物など、普段見ることのない景色に利用者さんも職員も上機嫌ではしゃぎっぱなしの楽しい一日間でした。

あいにく二日目のスペイン村では小雨に見舞われましたが、みんなで傘を分け合い、利用者さんと良い思い出を作ることが出来ました。

今後利用者さんと色々な場所へ行って楽しい思い出をつくりたいと思います。

生活支援員 松本 猛



↓浴衣に着替えて美味しい夕食を頂きました。皆さん旅行を満喫！

伊勢神宮～スペイン村 一泊旅行



←スペイン村では記念撮影をしたり、素敵な衣装のダンサーの方に声援を送ったり皆さん楽しく過ごされていました。



サニープレイス便り



サニープレイスでは、松阪市展や障がい者芸術文化祭に向けての絵画製作・PR活動の一環としての機関紙作り・体力作りとして中部台公園でのウォーキングやグラウンドでのバスケットボールやフットサル等多くの活動に取り組んでいます。根幹となる活動が今回紹介させていただきま

す「陶芸」になります。

開所一年目から取り組みを始めており、現在は火曜・木曜に取り組んでいます。瀬戸の貫入土を用い動物はしおき、楊枝立てなどの小物を作っています。サニープレイスにある窯が小さい為大きなものは作れないのですが、動物の顔をモチーフとしてマグネットやブローチ等も製品としてラインナップしています。

製品は一人で全行程を作りあげていくのではなく、工程を分担してそれぞれができる事を担当して頂き、製作しています。

製品ができた後は販売です。販売の機会としては、松阪市にて行われる様々なイベントや丹生大師の春秋の例大祭、特別支援学校の文化祭や夏祭り等に参加しています。また昨年度から道の駅飯高やベルファームにて販売コーナーを設けて常時販売させていただいています。

販売して出た利益は参加している利用者さんに工賃として支払わせていただく他、忘年会や年度末に行われる食事会の経費の一部とさせていただきます。

今後新製品を製作したり、バザーの機会に積極的に参加したり、新たな販売先を探していく、サニープレイスをどんどん知ってもらえるように努めるとともに、売り上げ金でみなさんと一緒に楽しいことをしていけたらと思っています。

サニープレイスサービス管理責任者 鎌倉喜昭



たくさん使って
頂けると嬉しい
です！

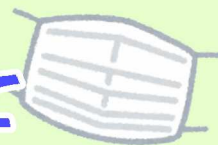


商品のディスプレイ
もバッチリです♪



医務便り

マスクについて



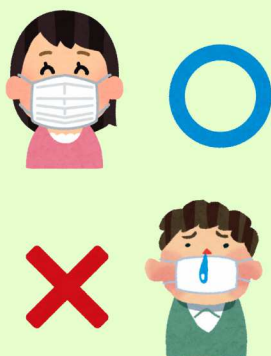
マスクは外部からの埃や塵、花粉などを防ぐ用途に用いたり、また風邪やインフルエンザの感染者のクシャミや咳などでウイルスを外部に撒き散らしていくくする効果があります。風邪ウイルスやインフルエンザウイルスは、ウイルス単体での空気感染では感染しません。唾などに含まれたウイルスによる飛沫感染によって感染が広がります。マスクを着用する事によって外部からのウイルスの侵入、感染を効果的に阻止出来ます。ただし間違ったマスクの使い方は感染を拡大させてしまう危険があるので正しい着け方を説明します。

プリーツマスクには「表」と「裏」があります。見分けるポイントとしてはプリーツ、つまりマスクのヒダが下向きになっている面が外側、つまり表面となります。これは全てのプリーツマスクに共通しています。次にマスクの上下の見分け方についてですが、鼻周りの隙間を調整するための針金が付いている方が「上」です。上下を間違えるとマスクの効果が半減するので注意しましょう。

マスクの正しい着け方

- ① マスクを着ける時はきれいな手で触る。
- ② マスクの表裏・上下を確認
- ③ マスクの口に当てる部分に触れないようにマスクを頬に装着
- ④ 針金を鼻に当て鼻をつまむように調整する。
（出来るだけ隙間がなくなるように）
- ⑤ マスクを広げて顎の先まで覆う
- ⑥ 鼻・頬・顎の隙間を無くすように押さえる。

マスクは正しく着けていてもウイルスの除去効果は四〇％程度と言われています。残りの六〇％は顔とマスクの隙間から入ってしまいます。正しく着けられないと、この効果はさらに下がるので、マスクの正しい着け方は非常に重要です。



看護師 井元美代子

御厚情深く御礼申し上げます

自平成三十年七月二十日
至平成三十一年一月十六日

ご芳志ご芳名（敬称省略）

保護者会・武田スミヨ

水谷英男

（他にも匿名で頂戴しております）

物品寄付ご芳名（敬称省略）

森田知恵子・南条訓

山野弘子・神廣かよ

東谷順子・吉田雅之

橋本達幸・梶原則子・岩城央生

山岡隆・井田菊男・水谷英男

小山株式会社・でんきや

丹生大師・西組・三光運輸

三重義肢・アンサーロックサービス

マルエイ

（他にも匿名で品物を頂戴しております）

機関紙ひだまり第四十九号を発行させていただきました。読んでいただければ幸いです。宜しければ聖愛園とサニープレイスのブログ☆活動日記☆もご覧下さい。

<http://seiaien.exblog.jp/>
<http://sunnysewa.exblog.jp/>

編集 聖愛園

田所有須